

2 章・1 節 三角形の性質

- ① 三角形と角
- ② 三角形と比
- ③ 三角形の重心・外心・内心
- ④ 角の二等分線と線分の比

1 次の□に、あてはまることばや数、線分を入れなさい。図

- (1) $\triangle ABC$ の辺 AB , AC 上の点をそれぞれ P , Q とする。

$PQ \parallel BC$ ならば

$$AP : AB = AQ : \square = PQ : \square \cdots \textcircled{1}$$

$$AP : PB = AQ : \square \cdots \textcircled{2}$$

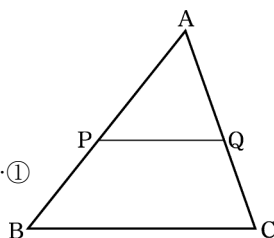
逆に、上の①, ②のいずれかが成り立つならば、

$$PQ \parallel BC$$

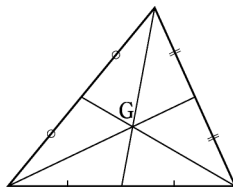
特に P , Q が辺 AB , AC の中点ならば

$$PQ = \square BC$$

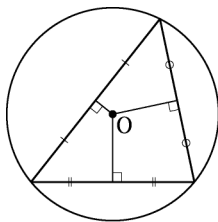
が成り立つ。これを □ 定理という。



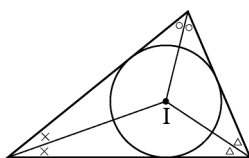
- (2) 三角形の頂点とその対辺の中点を結ぶ線分を □ という。三角形の 3 本の中線は 1 点で交わる。この交点をその三角形の □ いい、それぞれの中線を □ : □ に分ける。



- (3) 三角形の 3 辺の垂直二等分線は 1 点で交わる。この点は 3 つの頂点から等距離にあるので、この点を中心として 3 つの頂点を通る円をかくことができる。この円を三角形の □ いい、その中心を □ という。



- (4) 三角形の 3 つの内角の二等分線は 1 点で交わる。この点は 3 辺から等距離にあるので、この点を中心として 3 辺に接する円をかくことができる。この円を三角形の □ いい、その中心を □ という。



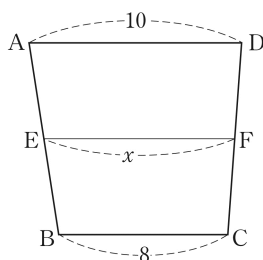
2 右の図で、四角形 $ABCD$ は

$AD \parallel BC$ の台形である。

また、点 E は辺 AB の中点で、

$EF \parallel AD$ である。

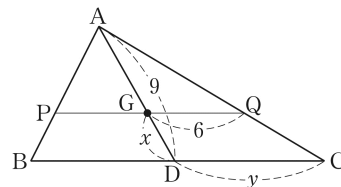
x の値を求めなさい。図



3 右の図で、点 G は $\triangle ABC$ の重心である。

x , y の値を求めなさい。

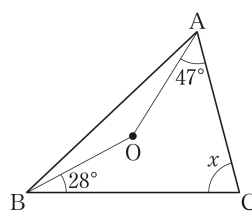
ただし、 $PQ \parallel BC$ とする。図



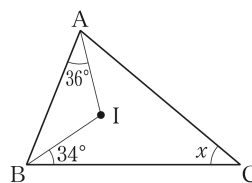
4 次の図で、点 O , I はそれぞれ $\triangle ABC$ の外心, 内心である。

x の値を求めなさい。図

(1)



(2)



5 右の図で、 AP は $\angle A$ の二等分線である。

x の値を求めなさい。図

